

平成 23 年 1 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社 アルバック
 代 表 者 名 代表取締役社長 諏訪 秀則
 (コード番号:6728 東証一部)
 問 合 せ 先 取締役経営企画室長 本吉 光
 (TEL. 0467-89-2033 大代表)

貸倒引当金の計上に関するお知らせ

平成 23 年 6 月期第 2 四半期累計期間(平成 22 年 7 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日)において、当社の取引先である、アルティソーラー株式会社(大韓民国、以下韓国)に対する債権にて、取立不能又は取立遅延の恐れが生じたので、貸倒引当金の計上についてお知らせいたします。

記

1. 当該取引先の概要

名称	Alti-solar(アルティソーラー)株式会社	
住所	Suite 214, 2F, Daeryung Techno-Town 8, 481-11 Gasan-Dong, Geumcheon-Gu, Seoul, Korea	
代表者の役職・氏名	代表理事社長 金 憲寧	
事業の内容	薄膜太陽電池セル/モジュールの生産	
資本金	250 億ウォン	
純資産	208 億ウォン	
大株主及び持株比率	株式会社コントロン 76% 金 文寧 24%	
当社との関係	資本関係	関係はありません
	人的関係	関係はありません
	取引関係	当社は当該、薄膜シリコン太陽電池一貫製造ラインの売買契約の締結以外には、関係はありません

2. 取立不能又は取立遅延のおそれが生じた経緯

当社は、韓国における取引先であるアルティソーラー(以下アルティ)と、平成 20 年 5 月に薄膜シリコン太陽電池一貫製造ラインの契約を締結し、受注いたしました。当社は、当社の与信管理規程に則り、同年 6 月に契約金額の 10%を前受金として受領したうえで製造を開始し、同年 10 月に納入いたしました。当社は、アルティにて据付作業、生産ライン立ち上げ作業を実施し、平成 21 年 6 月に設備引き渡しを行い、アルティは生産活動を開始いたしました。

しかしながら、金融危機の影響による太陽電池市場の環境悪化により、アルティの生産活動が滞り、資金繰りの悪化を招き、当初の事業計画が大きく狂いました。併せて、急激なウォン安により、当初予算の設備価格が大幅に上昇いたしました。

当社は、ここに至るまでアルティに対し、法的な手段を含めた代金回収の通達及び経営トップによる会談を重ね、その都度アルティ代表者からは支払い確約書を受領するなど、当社としても支払いが可能であると判断しておりました。

しかしながら、当第2四半期におきましても支払い履行がされず、当社といたしましては、アルティからの回収に大きな懸念が認められるため、第2四半期に貸倒引当金を計上することいたしました。なお、アルティに納入した設備につきましては、保全を確保した上で全ての設備を当社に引き取り、他社への転売を進めることといたします。

3. 当該取引先に対する債権の種類及び金額

売掛債権 36億97百万円

4. 貸倒引当金の計上の内容

当第2四半期連結決算において、契約金額の10%の前受金を除く売掛債権の未回収のおそれがある36億97百万円を貸倒引当金に計上し、同額を貸倒引当金繰入額として販売費及び一般管理費に計上することといたしました。

5. 今後の見通し

本件に伴う平成23年6月期(平成22年7月1日～平成23年6月30日)の連結業績予想への影響につきましては、個別引当36億97百万円とこれに伴う一般債権繰入率上昇による引当13億44百万円の合計額である50億41百万円となります。

なお、詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(参考)

当期連結業績予想及び前期連結業績実績

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
当期連結業績予想 (平成23年6月期)	230,000	5,700	4,500	400
前期連結業績実績 (平成22年6月期)	221,804	4,809	4,942	2,138

(注) 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

以上